

千葉市動物公園および日立市かみね動物園が

「エンリッチメント大賞2024 正田賞」を受賞します！

～茨城大学・日立市かみね動物園・千葉市動物公園の3機関連携プロジェクトが評価されました～

茨城大学・日立市かみね動物園・千葉市動物公園の3機関が連携して研究・教育活動を推進するプロジェクト「ZOO SCIENCE HUB」が評価され、千葉市動物公園および日立市かみね動物園が「エンリッチメント大賞2024 正田賞」（主催 特定非営利活動法人 市民ZOOネットワーク）を受賞することが決定しましたので、お知らせします。

なお、エンリッチメント大賞の受賞は千葉市動物公園として初めてとなります。

1 受賞決定者

千葉市動物公園、日立市かみね動物園

2 受賞概要

エンリッチメント大賞2024 正田賞

「動物園学研究拠点：地域の大学との協働活動を軸とした連携の取り組み」

<主催者コメント>

「茨城大学動物園学研究拠点 ZOO SCIENCE HUB」は、かみね動物園と茨城大学の学術連携（2015年開始）を基盤とし、2020年に千葉市動物公園も加わって結成されました。「かかりつけの研究機関」としての役割を担う茨城大学が動物園をバックアップしていく連携スタイルで、双方の学びの機能を向上させる共同研究活動を展開しています。

一般に、動物園と大学との関わりは、過去には必ずしも良好なものばかりとは限らず、関係のバランスがどちらかに偏っていたり、一時的な関係で終了ということも多くもありました。しかし、今回のこの研究拠点では、3者がそれぞれ主体的に参画し、それぞれの得意分野を活かして組織的・継続的に連携している点が特徴的です。さらに、この連携のもとで実施された30件以上の研究事例をみると、エンリッチメントに関するもので約2割、広く動物福祉に関与するものまで含めると半数以上に達します。連携関係が両動物園の動物福祉向上やエンリッチメントの効果検証に寄与してきたことは間違いありません。また、活動の記録・共有・公開のため、2024年3月には学術紀要「ZOO SCIENCE JOURNAL」も創刊されました。これによりエンリッチメントの手法を個人の技術で終わらせずに記録に残していくことや、飼育担当交代時に動物の状態や進行中の研究の引継ぎがしやすくなり、結果として動物のケアの質を高めることにも貢献していくでしょう。

このような連携関係が継続し、広がっていけば、動物園のエンリッチメントがより良いものになっていくと期待できる点が高く評価されました。動物たちのため、動物園と大学が対等な関係を築いて協働するというのは、正田陽一先生しょうだよういちが目指してこられた理想の一つでもあります。この連携関係の構築は、3回目の「正田賞」にふさわしい取り組みだと考えます。

3 表彰式・受賞者講演会（予定）

(1) 日時

令和6年12月7日（土）

(2) 場所

東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生1-1-1）

※詳細は後日、市民ZOOネットワークウェブサイトに掲載予定です。

<参考>

1 エンリッチメント大賞について

「エンリッチメント大賞」は、動物園・水族館に対する社会的な意識を高め、環境エンリッチメント（飼育動物たちの生活環境を豊かにするさまざまな工夫・試み）を推進するため、市民ZOOネットワークにより2002年度に創設され、今年度で23回目となります。賞の区分は大賞、正田賞、その他各賞です。

○特定非営利活動法人 市民ZOOネットワークウェブサイト

【URL】 <https://shiminzoo.studio.site/>



2 ZOO SCIENCE HUBについて

茨城大学と日立市かみね動物園・千葉市動物公園の3機関が連携し、動物園での研究・教育活動を推進するためのプロジェクトです。地方大学と地域の動物園の協働による連携活動として、動物の飼育管理に関わる研究だけでなく、展示手法や動物園を使った実践的教育など、動物園および大学双方の学びの機能を向上させるさまざまな取り組みを行っています。

動物園が自然科学の研究教育拠点として“種の生態学的解明”や“飼育技術の確立”等に貢献するために、動物園職員が日常的に実施している技術的工夫や教育活動などの情報を広く公開する媒体として、学術紀要「ZOO SCIENCE JOURNAL」を創刊するなど、三者が主体的に参画するプロジェクトです。

○ZOO SCIENCE HUB ホームページ

【URL】 <https://dklabo.wixsite.com/izsh>



○学術紀要「ZOO SCIENCE JOURNAL」について（市ホームページ）

【URL】 https://www.city.chiba.jp/zoo/academia_animalium/zoosciencejournal.html

